

## 温室水耕栽培施設

### などを視察

農業委員会では、市内、近隣市町村の農業情勢などを調査研究するための視察研修を行っています。今年度は、6月29日の午後、団体営農地開発湧井地区・湧井新池、飯山国営農地、団体営農地開発天祢津地区、県営農林地一体開発整備パイロット柏尾地区を視察後、有限会社ベジタルサンクスの温室水耕栽培施設の視察研修を行いました。



それでは、瑞穂神戸地区で温室水耕栽培を行っている(有)ベジタルサンクスの視察研修について報告します。

(有)ベジタルサンクスは、平成17年設立の農業生産法人で、三連棟の温室ハウスでビートなどのベビリーフと呼ばれる

農地の売買、貸借のことなら任せて安心

## 財団法人 長野県農業開発公社

(注) 農業開発公社が売買する農地は、農業振興地域の農用地区域が対象となります。

農業開発公社は、営利を目的としない公的機関です。



- \*ご相談は
- ・(財)長野県農業開発公社 北信支所(北信地方事務所内) TEL 0269(22)3111 内線317
  - または
  - ・飯山市農業センター(JA北信州みゆき本所内) TEL 62-5600

- ☆農地をみたい方
- ・登録免許税10/1,000が8/1,000に軽減されます。
  - ・不動産取得税が2/3相当に軽減されます。

- ☆農地を売りたい方
- ・譲渡所得が800万円まで特別控除されます。
- (買入協議制度を活用した場合 1,500万円まで特別控除)

計算例	農業開発公社の場合	通常の売買
農地売却代金	800万円	800万円
取得費+譲渡費用	40万円	40万円
特別控除額	800万円	0万円
課税所得税	0万円	760万円
税金(20%)	0万円	152万円

\*農地の賃借、造成、作業受託資金の無利子融資も取り扱いしております。お気軽にご相談ください。



## が がんばってます!

— No.21 —

みんなで楽しく  
 こんにやく作り!!



やちよ 和田八千代さん(写真下段中央)  
 山岸(木島)

今回は、遊休農地を使ってこんにやくを作っている会の代表の和田さんにお話を伺いました。会の名称は、木島女性部こんにやく部会で、10人で活動されているという事です。この会ができたのは、自分達で作って食べようということと有志が集まって作り始めたことがきっかけになっています。発足して現在で4年目になるそうです。昨年は18回の活動があり、そのうち半分はイベントで、刺身こんにやくを身こんにやく



葉菜類の水耕栽培を行っています。昨年末頃に作り付けを行い、現在は10日に1回収穫を行っているそうです。また、ハウスは雪に強い設計がしてあり、今冬の豪雪でもハウスは損傷せず、この冬は

とても良い経験をさせてもらったとおっしゃっていました。(代表取締役の宮崎茂さん) この視察研修を今後の農業委員会活動に活かし、農業の発展の為に役立てていきたいと思っています。

都市と農村の交流を通して地域の活性化 毎年五月の連休を過ぎると、太田の民宿街は、セカンドスクールや自然体験教室の子供達でにぎわいます。民宿のおじさんの子供達に指導する声も聞こえてきます。食事の時は自分達で作った竹箸を使うそうです。体験メニューも個々の宿で得意とするものを取り入れ、学校や都会では味わえない、田舎の食と農、そして自然を体験してもらっています。笹もちや笹ずし作りの時は、我が家の笹も時には役に立ちます。又、どろんこになったの田植えはメインの農業体験ですが、予定日に間に合う様今年はハウスを作った育苗をしたそうです。飯山市のグリーンツーリズム事業やJAと生協との提携、グリーン



農業委員 大口千恵子 (太田地区)

## あぜ道だより

ライフ事業は、農村と都市との交流を通して都会い、更に農業、農村に理解を深めてもらい、農村の活性化を図るといいう目的でスタートし、今に引き継がれて十年以上を経過しました。今では首都圏を中心として五十近い学校が戸狩の民宿を訪れています。グリーンライフも企画等バリエーションの豊富さで堅実な実績を積み上げています。なべから高原森の家の存在の価値も大きく、自然豊かな森にたたくむ施設とそこで繰り広げられる様々な事業は、森林セラピー基地のメインセンターとしても、グレイドの高さを感じます。収穫体験をした子供達は、嫌いだつたアスパラ、苦手な野菜もおいしいと言った食べるとか、スーパード買った物より畑から得た物は、ひと味違う様です。田舎の人情にふれ、おいしい空気と水、そして本物の味をしっかりと舌で覚えた子供達が再びこの地を第二の故郷として訪れる事を希望しています。